

【速報版】TV 報道検証 報告書

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2018年9月19日															
出演者：星浩、雨宮塔子、駒田健吾、皆川玲奈、宇内梨沙																	
速報検証テーマ：自民党総裁選																	
<p>・速報検証テーマ報道内容文字起こし</p> <p>自民党総裁選についてスタジオでの発言がなされたシーンを「スタジオ」、安倍陣営の主張や演説の様子を伝えるシーンを「安倍陣営」、石破陣営の主張や演説の様子を伝えるシーンを「石破陣営」、総裁選についての逢坂准教授が分析を述べるシーン及び分析に対しナレーションで補足説明が加えられたシーンを「逢坂准教授の分析」と集計した。なお、「逢坂准教授の分析」は安倍総理が街頭演説会場とした秋葉原や、石破元幹事長が街頭演説会場とした渋谷で逢坂准教授がコメントをするシーンもあったが、それらはどちらも「逢坂准教授の分析」として集計した。この総裁選についての報道には 409 秒が当てられた。</p>																	
<table border="1"><thead><tr><th>シーン</th><th>秒数</th><th>割合</th></tr></thead><tbody><tr><td>逢坂准教授の分析</td><td>179秒</td><td>44%</td></tr><tr><td>スタジオ</td><td>98秒</td><td>24%</td></tr><tr><td>安倍陣営</td><td>85秒</td><td>21%</td></tr><tr><td>石破陣営</td><td>47秒</td><td>11%</td></tr></tbody></table>			シーン	秒数	割合	逢坂准教授の分析	179秒	44%	スタジオ	98秒	24%	安倍陣営	85秒	21%	石破陣営	47秒	11%
シーン	秒数	割合															
逢坂准教授の分析	179秒	44%															
スタジオ	98秒	24%															
安倍陣営	85秒	21%															
石破陣営	47秒	11%															

なお、番組の文字起こしは以下の通りである。

始 (始まりの時間 を記入) ※表記は、 「時:分: 秒」	終 (終わりの時間 を記入) ※表記は、 「時:分: 秒」	内容 (報道での発言を文字として記録)	備考 (左欄内容の他に、補足があれば記入 (テロップやフリップ等))
0:08:02	0:08:19	雨宮塔子「次です。自民党の総裁選が投票票がいよいよ明日に迫りました。」 駒田健吾「二人が最後の演説の場を選んだのは東京、秋葉原と渋谷、揃い踏みとはなりませんでしたが一体何を訴えたのでしょうか。」	
0:08:19	0:09:44	司会「総理が到着しました、皆さん。盛大な拍手でお迎えください。」 ナレ「総裁選の締めくくりとなる街頭演説。総理が会場に選んだのは今回も秋葉原でした。」 安倍「私達は憲法改正に取り組むときを迎えています、自衛隊をしっかりと明記をして私達の責任を果たして行くではありませんか。」 ナレ「国会議員票の八割を固めたとみられる安倍総理、会場には多くの国会議員が応援に駆けつけました。」 麻生太郎財務相「明日は、いよいよ総裁選挙、投票日。もう一つなんの日高知ってます。俺の誕生日。」 ナレ「笑いを取る余裕を見せて上で。石破陣営を念頭にこんな発言も飛び出しました。」 麻生「冷や飯を食わせるな、とか、なんとかかんとか言っている人たちがいるみたいですけども、覚悟が足りないんだ覚悟が。冷や飯を食うくらいの覚悟を持って戦って当たり前でしょうが。」 ナレ「最後に行った秋葉原での街頭演説。」	
0:09:44	0:11:18	ナレ「専門家の目にはどう移るのでしょうか。政治コミュニケーションを研究する逢坂准教授です。」 逢坂准教授(駒沢大学)「若い人が案外多いんですね。」 ナレ「選挙のたびに演説会場を訪れフィールドワークを続ける逢坂准教授、ある事に気づきました。」 逢坂准教授「ただ、あそこらへん全部こう隠すんですね。誰に対して隠しているのかっていうのはね。」 ナレ「視線の先にあるのは安倍総理への指示を訴えるのほり、その裏にはアベヤマロと記された横断幕がありました。」 群衆「アベヤマロ、アベヤマロ」 ナレ「総理の退陣を求め声を上げる人たちもいますが、最前列にいるのは総理の支持者ばかりです。それには理由がありました。」 逢坂准教授「あの、今回こういうものを配ったみたいなんですね。」 ナレ「会場にいた複数の自民党関係者によりますと、このシールがないと最前列にはいけないのだと言います。」 逢坂准教授「あの、安倍さんが首相になってからは演説会はこういうふうな雰囲気になってきて、要するに反対の人達が出てきてアピールをすると、それに対して賛成の人たちが、その声を封じ込めようとする、っていうような演説会がとて多くなっていますよね。」	
0:11:18	0:11:37	ナレ「一方の石破茂元幹事長、最期の演説場所に選んだのは渋谷でした。」 石破茂「私がやりたいのは一人ひとりを豊かにする、そういう日本を作っていくたい。」	
0:11:37	0:11:55	ナレ「演説を見ていた逢坂氏は。」 逢坂「通行人がそんなに足を止めてるっていうわけでもないで、全体的に自民党の総裁選に対してそれほど大きな関心も持たれていないっていうのはこの討論会からも見ることができると思います。」	
0:11:55	0:12:23	ナレ「国会議員表で劣勢の石破氏の狙いは浮動票。特に重視したのはSNSです。今日の渋谷でもSNSでの拡散を期待してわざわざ写真撮影の時間を設けるなど、ネット上の露出を増やすことで支持拡大を狙います。」	
0:12:23	0:13:30	ナレ「2つの演説会場を見た逢坂氏、一つ残念なことがあると言います、それは。」 逢坂「この前の総裁選というのは最後はみんなで新宿でやりましたけど、今回石破さんと安倍さんがそれぞれ別のところでやられるというのはちょっと残念な感じもしました。」 ナレ「確かに、前回、2012年の総裁選では告示後23日に渡り候補者全員による討論会や街頭演説が行われました。しかし今回は北海道自身の影響で自粛したとは言え、二人が揃ったのは8回のみ。」 逢坂「自民党のことをよりアピールしたいのであれば一つのところに集まってお互いのその候補がですね、仲良く議論をする、討論をするということが自民党のアピールになったと思うんですけども、」 ナレ「候補者の訴えは党員にそして国民にどう響いたのか。その答えは明日午後二時過ぎに明らかになります。」	
0:13:30	0:14:32	雨宮塔子「総裁選はいよいよ明日投票ですが星さん、安倍総理の優位はもう動かないようですが。」 星浩「そうですね、安倍さんの優位は動かないのが最終盤となったと思います。そこでまあ自民党の中で言われているのは、その仮に石破さんが負けるにしてもその負けっぷりが焦点だということですね、はい。石破さん国会議員票では50票くらいにとどまるのかな、党員票では100票程度かなと言われているんですが、そういう意味ではですね、ちょっと押されてはいるんですけども、最終盤で更に波乱があるのかどうかということですよ。」 駒田健吾「この見立てからですね、どれぐらい票を伸ばすと石破さんの存在感を保てるのか。」 星浩「そうですね。国会議員でも実は更に隠れ石破票があって、ちょっと増えるか、それから党員票もじわじわと増えて150くらいになってトータルで200に迫る。ないしは200を超えるようになる」と石破さんはポスト安倍として存在感を維持するというふうに政治的にはなると思いますが、はい。」	「自民総裁選 あす投票票 注目は負けっぷり」

0:14:32	0:39:55	中断	
0:39:55	0:40:01	駒田健吾「自民党総裁選は明日が投開票、両陣営が最期の訴えを行いました。」	
0:40:01	0:44:50	中断	
0:44:50	0:45:03	星浩「総裁選挙っていうのはいくつか名セリフが残っていて、昔、福田赳夫さんっていう人が 党員投票で負けましてね、天の声にも変な声がある、って言ったんですね。今回まだ名台詞が 出てないですね。」 雨宮塔子「そうですね、期待します。」	